

2024年8月

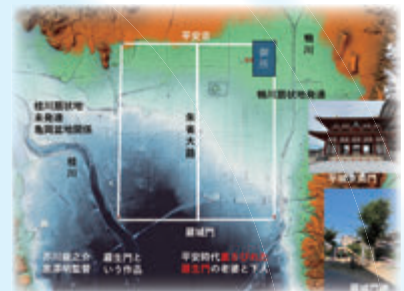
地域自然情報研究会 (現地 / オンライン 併用開催)

ブラタモリの文理融合は学習意欲を刺激する

原 雄一 氏 (京都先端科学大学名誉教授 / 痕跡学研究所)

2024年3月、NHKのブラタモリは惜しまれつつ終了した。ブラタモリの良さを端的に言えば、地形・地質(理系)と歴史・文化(文系)とのつながりを巧みに可視化することで、視聴者に驚きや面白さを与えるということであった。

関係性が薄いと認識していた2つの分野に、意外なつながりを見出したとき、人々は新たな学習意欲(TVの世界では次も見たいという視聴率)を感じ取った。このようなブラタモリ的手法に関して、最も多く放送された京都や東京などの具体事例を中心に深掘りし、最後に痕跡学について紹介する。



都として発展した平安京と、その後の中心であった京都御所は、位置が大きくずれている。この謎を解く鍵は「扇状地」である。

開催日時

2024年8月4日(日) 15:30~17:30

参加費

1,000円(GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

下記ホームページよりお申し込み下さい。

<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当:梶並)

地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、年数回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

会場

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)
及び
Zoomウェビナー



GCN NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoecological Conservation Network

**NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します**

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>